

平成27年5月20日
創刊号
 茶屋町地区
 社会福祉協議会
 広報担当 佐川 慶三
 ☎428-2417

茶屋町地区社協だより

地区社協を設立

「できてよかった」と言われるように

助け合い活動や交流活動を

4月19日、茶屋町公民館において、茶屋町地区社会福祉協議会の設立総会を行い、「地域福祉の推進を図ること」を目的に、活動を開始しました。

《ご来賓の方々》

倉敷市 副市長 三宅 英邦 様
 倉敷市社会福祉協議会 会長 虫明 正雄 様
 倉敷市立東陽中学校 校長 川上 忠良 様
 倉敷市立茶屋町小学校 校長 忠田 正 様
 倉敷市役所福祉支援課 課長 宇野 宏造 様
 倉敷市立茶屋町小学校 校長 三宅 英邦 様
 倉敷市社会福祉協議会 会長 虫明 正雄 様
 倉敷市立東陽中学校 校長 川上 忠良 様
 倉敷市立茶屋町小学校 校長 忠田 正 様
 倉敷市役所福祉支援課 課長 宇野 宏造 様

設立総会には、茶屋町学区コミュニティ協議会のメンバーや支援団体の方々、約90人が出席しました。倉敷市副市長 三宅英邦様、倉敷市社会福祉協議会会長 虫明正雄様より、



倉敷市副市長 三宅 英邦 様より「祝辞をいただきました」

4月19日、茶屋町公民館において、茶屋町地区社会福祉協議会の設立総会を行い、「地域福祉の推進を図ること」を目的に、活動を開始しました。

倉敷市 副市長 三宅 英邦 様
 倉敷市社会福祉協議会 会長 虫明 正雄 様
 倉敷市立東陽中学校 校長 川上 忠良 様
 倉敷市立茶屋町小学校 校長 忠田 正 様
 倉敷市役所福祉支援課 課長 宇野 宏造 様

設立総会には、茶屋町学区コミュニティ協議会のメンバーや支援団体の方々、約90人が出席しました。倉敷市副市長 三宅英邦様、倉敷市社会福祉協議会会長 虫明正雄様より、

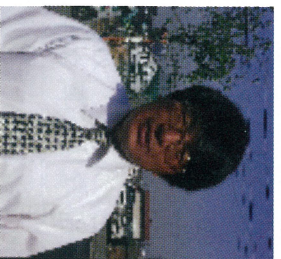


倉敷市副市長 三宅 英邦 様より「祝辞をいただきました」

茶屋町地区社会福祉協会の51番目の設立であり、人口も急激に増加し、小中学校も県内有数のマンモス校となり、昨年の夏頃よりは役員候補として自覚を持ちながら、本日の総会に向け、地区社協設立の準備を進めて参りました。この茶屋町は、倉敷の時代の流れ、時代の変化と一言

地域住民のための活動を

「ご挨拶」会長 古原 重臣



では言えませんが、地域住民の連帯感の希薄化や生活環境の変化は、高齢者・障がい者や子育て青少年に関する問題など、多くのコミュニティ協議会及び本日出席されている関連団体の方々の協力のもとに「茶屋町町民による町民のための活動」を推進し、身近な地域の課題を改善して地域福祉を進めていくうえで、地区社協とコミュニティ協議会では、常に協力し合

設立の目的

茶屋町地区社会福祉協議会は、茶屋町小学校区を活動地域として、地区内の福祉問題を解決するために、様々な活動を展開することにより、地域福祉の推進を図ることを目的とする。

平成27年度 事業計画

- 年間事業
 - 小地域ケア会議「茶屋町ケア会議」○福祉教室の開催
 - あいさつ運動・児童生徒の登下校時の見守り
 - 「地域で子育て応援会議」への協力・応援等
 - 広報紙の発行 ○社協だより配布
 - 社協会員募集への協力
 - 歳末たすけあい運動への協力
 - 独居高齢世帯等の見守り・訪問活動
 - 災害時要援護者の把握・支援
- 2、メニュー事業
 - (1) 要支援者に対する見守り・支え合い活動(独居高齢者配食事業)
 - (2) 地域での防犯活動
 - (3) 福祉講演会
 - (4) 住民同士の交流活動
 - (5) 歳末たすけあい活動(家族でカラオケクリスマス)



- (1) 要支援者に対する見守り・支え合い活動(独居高齢者配食事業)
- (2) 地域での防犯活動
- (3) 福祉講演会
- (4) 住民同士の交流活動
- (5) 歳末たすけあい活動(家族でカラオケクリスマス)

平成27年度 役員名簿

顧問 佐藤 恭久
 会長 古原 重臣
 副会長 佐藤 秀樹
 理事 佐藤 允啓
 川端 宏輝
 和田 一夫
 栗坂 保子
 高浜 純子
 川上 志保
 栗坂 昌毅
 武田 妙子
 酒井 正二
 古原 鶴二
 斎藤 元晴
 岡 浩一

会計 岡本 啓志

監事 大塚 文字
 小池 道治

庶務 佐川 慶三
 味壱 敏夫
 和紀 敏夫

微力ではありますが、全力で頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



「挨拶をされる
虫明 正雄 会長

倉敷市社会福祉協議会会長 虫明 正雄様より「ご祝辞をいただきまして、紙面の都合で、抜粋し掲載させていただきます。」

祝 辞

本日ここに、茶屋町地区社会福祉協議会の設立総会が開催されるにあたり、一言でお祝いを申し上げます。近年、急激な少子高齢化の進展や人口減少社会が到来して

市社協といたしまおおり、そのうえ核家族化が進み、以前の支援をさせていた町地区社会福祉協議会の設立総会が開催さ

返し熱のこもった意見を交わし、地区社協設立に向けてたゆまぬご努力を続けて

「挨拶をされる」を中心に、あいさつ

茶屋町地区社会福祉協議会設立の経緯報告

茶屋町地区社会福祉協議会設立準備委員会 委員長 佐藤 恭久
茶屋町学区コミュニティ協議会 会長



佐藤 恭久 委員長

近年、急激な少子高齢化の進展や人口減少社会が到来して市社協といたしまおおり、そのうえ核家族化が進み、以前の支援をさせていた町地区社会福祉協議会の設立総会が開催さ

返し熱のこもった意見を交わし、地区社協設立に向けてたゆまぬご努力を続けて

「挨拶をされる」を中心に、あいさつ

ボランティアとして、共に活動してくれる 有志の方を募集しています

高齢福祉部会では、小地域ケア会議を2カ月に1回（奇数月の第2火曜 午後7時）、会場は茶屋町公民館）開催し、主に高齢

ボランティアとして、地域の人々の健やかで安全な暮らしにご尽力いただける方を広く求めています。

設立総会記念講演 演題「地区社協の役割と活動について」

講師 倉敷市社会福祉協議会 地域福祉課 課長 秋田 展生様



今、私たちのまわりでは、「子育ての意識しておくことは、相談に乗ってもらえ

「① 出会う」人と人との関係が何事か

「② つながる」

「③ 助け合う」

講演要旨

今、私たちのまわりでは、「子育ての意識しておくことは、相談に乗ってもらえ

「① 出会う」

「② つながる」

「③ 助け合う」



秋田 展生 課長の講演

「① 出会う」

「② つながる」

「③ 助け合う」